

石川で「北陸信越 ブロック交流集会」

戦争する国づくり辞さず「わが町を平和の砦に」

戦後80年、安保法制成立から10年。日本は今「戦争か平和かの歴史的岐路」にあり、平和委員会の役割がますます重要になっています。9月20日～21日「北陸信越ブロック交流集会」が、志賀町・いこいの村能登半島で開催され、長野・新潟・富山・福井の代表と地元石川の6人に加え、中央の岩月康範事務局次長、河戸憲次郎組織担当が出席して意見交換し、情勢認識を共有して意思統一を図りました。



山野健治代表理事が「各地の活動を交流し、大軍拡の動きを学び行動しよう」と開会あいさつ

駅前街頭宣伝。これから平和大会のパンフを使って連続学習会を計画。新潟＝4つの地域組織と職場組織がある。6人で事務局を運営し、若者世代・子育て世代との繋がりを模索している。富山＝中学2年生を対象に、昨年と同数の10校で自衛隊体験が実施され、新婦人などと県教委に抗議の申し入れ。準備会を含め9つの地域組織がある。福井＝戦争する国づくり反対連絡会として、9月の陸・海・空合同の市中パレード計画で中止を申し入れて、抗議行動に取り組んだ。石川（柴原和美事務局長＝写真）＝①戦争国家づくりを許さないたたかい。②沖縄連帯の取り組み。③空自・小松基地問題。④被爆・戦後80年の取り組み。⑤講師活動と平和ガイドなどを紹介。

当面の主な活動

■小松基地騒音測定に参加しませんか ◎日時＝10月16日(木)・17日(金)と10月20日(月)～22日(水)の5日間。時間はいずれも＝8時～17時。半日でも可能。◎場所＝小松市民会館のテニスコート脇。連絡先は090-2837-8105（柴原）。

■日本平和大会イン愛知 ◎10月25日(土)・26日(日)。26日の開会集会はオンラインで視聴出来ます。問い合わせは090-2837-8105（柴原）。

■憲法集会 ◎11月3日(水)14時～。◎県教育会館3Fホール。航空自衛隊小松基地問題の「シンポジウム」。爆音訴訟の原告や騒音測定に取り組む県平和委員会などから報告します。集会後にパレードが計画されています。

能登地震と豪雨の復興状況を聞く

はじめに、「能登半島地震・豪雨災害からの復興状況と問題点」をテーマに、被災者共同支援センターの黒梅明事務局＝写真＝が講演し、「復旧・復興には政治の力が足りていない。あれから1年以上経つが、被災者は住む所や生業に希望を見いだせず苦しんでいる」と、怒りを込めて実情を報告しました。



岩月次長は「参院選後の情勢と平和運動の課題」について問題提起＝裏面参照＝。そして各県からの活動報告に移り、長野＝9月の日米豪合同演習に対し、首相・防衛大臣に中止を求めるFAXを送り、共闘して

活動経験を交流して意見交換

2日目は、「青年とのつながり＝世代継承」「わが町運動＝住民と一

体になって」とテーマを絞り、突っ込んだ意見交換の場となり課題も明らかにされるなど、内実のあるブロック集会でした。

発言の一部を紹介します。

「シールアンケートに応えた高校生に『そろそろ大学受験 頑張つてよ』など声を掛けて会話できた」。「続けてきたことで、当初よりシール投票は4倍になった」。「世代間

小松市周辺の上空を何の遠慮もなく堂々と爆音をまき散らしている航空自衛隊の戦闘機。「ワァ！カッコイイ！」小松空港の展望デッキで戦闘機を撮るため、各地から一眼レフ・長望遠レンズを携えてシャッターを切る光景を目にします。愛好者のみなさんは興奮気味です。確かにそう感じても仕方のないことです。その本質を抜きにすればの話ですが。

専守防衛から攻撃基地に変貌した小松基地

私は、航空自衛隊小松基地の滑走路から約8キロメートル離れた延長線上で、58年間住み続けています。静かな空は一度もなく、むしろ危険が増すばかりです。専守防衛という都合のよい建前で守って頂いているらしいのです。権力者の目線によればです。

「なまじりを戦争の拠点に抑えろ」

現在の小松基地は変貌しました。F35Aステルス戦闘機の配備により、その役割は完全に敵基地攻撃基地となったのです。中国を念頭に置きながら、万が一に備え市民を守ってくれるらしいです。彼らの言葉を借りればです。

「そんな言葉は通用するのか？」「戦争に駆り立てるのか？」「子どもたちをそそのかして正義の味方みたいに自衛官を募集するのはやめて！」と言いたい。平和と武器は相反します。

静かな空を取り戻すため、小松基地爆音訴訟の原告の一人として行動を共にしていますが、長い闘いになっています。でも、住民が意思表示することは必要な事だと思っています。団塊の世代の私ですが、希望を胸に持ち続けていきたいです。

（東 洋子さん）

ギャップを痛感。コロナ禍で対面集会在企画できず。「活動の可視化が重要」。「初参加で各地の活動を知り、仲間増やしで頑張る」。「平和委員会の魅力とは何かを考えてきたが、活動を通じて満足感を味わってもらうことでは一に思い至った」。などなどで、石川の今後の活動に参考になる視点がありました。

平和を巡る情勢は私たちの出番を待っています。のんびりしてはいられません。各地で・各分野で共同行動を多面的に追求しようではありませんかーを共通認識としました。

【問い合わせ・申し込み先】

山野健治代表理事 携帯090-2121-9741。柴原和美事務局長 090-2837-8105。